



報道関係者 各位

東京都におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

東京都から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

オセルタミビルに耐性を示す新型インフルエンザウイルスの確認

新型インフルエンザウイルスの薬剤耐性変異の遺伝子解析を行った結果、今回初めてオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性株が確認されました。

オセルタミビル耐性マーカー有り	オセルタミビル耐性マーカー無し
1株	527株

*ノイラミニダーゼ(NA)蛋白の275番目のアミノ酸がヒスチジンからチロシン(H275Y)に変化していること。

【コメント】

現時点までに、東京都健康安全研究センターにおいて新型インフルエンザウイルス528株の遺伝子解析を行った結果、今回が初めてオセルタミビル耐性マーカーをもつ遺伝子変異が確認されました。

国立感染症研究所で今回のオセルタミビル耐性マーカーを持つウイルスの薬剤感受性試験を実施したところ、オセルタミビル耐性、ザナミビル(商品名:リレンザ)感受性であることが確認されました。

厚生労働省によれば、オセルタミビルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの病原性には直接影響を及ぼすものではないとされています。

今回オセルタミビル耐性株が検出された患者から周囲への感染拡大は認められませんでした。

【参考資料】

1. 検査結果

- ・遺伝子解析(東京都健康安全研究センター実施 2月24日判明)
オセルタミビル(商品名:タミフル)耐性マーカーH275Y検出
- ・薬剤感受性試験(国立感染症研究所実施 3月19日判明)
オセルタミビル(商品名:タミフル): 耐性[※]を確認。
ザナミビル(商品名:リレンザ): 感受性[※]を確認。

- ※ 耐性:病原体が薬剤に対して抵抗性を持ち、薬剤が効きにくくなること。
- ※ 感受性:病原体に対して薬剤が有効に作用すること。

2. 患者の概要

患者は都内在住の12歳。女性。基礎疾患なし。

3. 病気の経過

平成21年9月7日

朝に発熱(39.2℃)、咳の症状が出現。

夕方に近医(病原体定点医療機関)を受診。インフルエンザ迅速キットでA陽性。病原体定点用の検体採取。リレンザを5日分処方された。

9月9日

解熱し、咳症状も改善。

9月11日

再度受診。診察上、臨床所見なく、快復していることを確認。